

## 令和七年度 卒業証書授与式 校長式辞

冷たい春の雨や風に耐えながらも、桜の蕾は確実にその命をふくらませ、花開き咲き誇る日を待ち望んでいます。同じように、春を迎え花開かんとする卒業生を祝い、東京都立大泉桜高等学校、第十九回卒業証書授与式を、来賓の皆様、保護者の皆様御列席のもと挙行できること、校長としてうれしく思っています。

卒業生、本校十九期生の皆さん、卒業おめでとうございませう。今お渡しした卒業証書には「本校所定の課程を修了したことを証する」と書かれています。これは単に高校での学習が終わることを示すだけでなく、皆さんが本校に学び、生きた証しでもあります。皆さんはこの三年間で多くのことを学んできました。本校を卒業するにあたり私から、皆さんが身につけたことを三つ挙げ、それに思いを致すことでこれからの新しい生活への自信と希望としてほしいと考えています。

皆さんが本校で身につけたことの一つは、自分に向き合い選択する力、です。単位制であるこの大泉桜高校において、皆さんは、他の高校と違い多様な科目の選択や進路選択をとおして自分の内面に向き合ってきました。キャリアガイダンスの授業や、個人面談、三者面談、履修科目の選択、受験する学校や会社の選択。本校での学習は選択の連続でした。本校のスクール・ミッション、学校としての使命には「単位制の特色を生かした多様な選択科目による教育活動を通して進路実現を図り、社会を生き抜く生徒を育成します。」と書かれています。自分と向き合い自分の将来の夢を探り、自己理解を深め、先生や家族と相談し、選択をしていったこと、それはこれからの社会を生き抜く力になっていきます。どうか自信をもって、これからも様々な選択をして、自身の人生を切り開いていってください。

皆さんが身につけたことの二番目は、粘り強く続ける力です。本校での学習で様々な選択の場面を迎えましたが、皆さんは逃げずに一つ一つの選択に向き合い、適切に判断をしてきました。その成果として、卒業制作で自分の表現を絵にした人もいます。部活動に所属し、三年間活躍した人もいます。何よりも、三年間本校に通い続けたこと、そしてその努力のあかしとして卒業証書を手にしたこと、それらが粘り強く続ける力を皆さんが身につけたことを証明しています。現代は、スマートフォンやパソコンの画面のように、クリック一つでさまざまな選択ができ、簡単に他の場面に移ることができます。言うなれば、短絡的に、その場しのぎで、困難な場面を避けることができます。しかし皆さんは本校で、自分に向き合い粘り強く時間をかけて慎重に選ぶこと、その難しさも苦しさも尊さも学んできたはずでせう。高校卒業にあたり、時間をかけて粘り強く続けてきた自分自身をたたえ、その力を自覚してください。継続は力なり、という言葉があります、本校に三年間通い続けたこと、それぞれの学校生活で続けてきたことを思い出し、そこから得た力を、今後の生活で発揮してください。

そして皆さんが身につけたことの三番目は、本校で得た仲間との思い出です。高校時代の仲間との思い出は、これからの人生を豊かにしてくれます。皆さんは、本校での生活を楽しみ、多くの思い出を胸に、今日の卒業式を迎えたことでしょう。私自身も、十九期生の皆さんとのいくつもの思い出がありますが、昨年十一月に行われた本校の創立二十周年記念行事の中で、アコースティックギター部が自作の曲を披露してくれました。その歌詞が、まさに皆さんが本校での生活を楽しんでいることを示すものとして印象に残っています。その歌詞の一部をここに披露します。

大きな木のそばに並んではいチーズ！ 笑ってる顔はまるで満開の桜だね  
響き渡る廊下では 何気ない会話ばかり  
チャイムが鳴るその時に いっせーので走り出す  
この桜が僕らの青春を彩る 悩んだり笑ったり落ち込んだり  
今日もまた一歩ずつ進んでゆく 僕らなりの自分で咲き誇れ

皆さんが青春を謳歌する姿が浮かんできます。この思い出を糧にしながら、これからの人生を豊かな心で生き抜いて行ってほしいと思います。この曲の最後には、こんなフレーズがあります。

一人一人が桜の蕾をもって 僕らはまた明日に向かって咲き誇れ

これから始まる新しい生活で、皆さんのもつ桜の蕾が立派に花開くことを願っています。そして、明日に向かって咲き誇るよう、これからの人生を誇り高く歩んでいくことを期待し、応援しています。改めて、卒業おめでとう。

続きまして、本日御列席の保護者の皆様におかれましても、卒業の日を迎えましたことをお慶び申し上げます。御家庭でも、卒業生が今日の卒業までさまざまな選択を経て、粘り強く学習を続け卒業の日を迎えたことを、たたえていただきたいと思います。

これまでの三年間、御家庭でも生徒をあたたく見守り、本校へ毎日送り出していただいたこと、感謝申し上げます。御家庭の御協力あってこそ、今日の卒業生の立派な姿があり、本校の教育も成果を上げることができました。これまで本校の教育に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

結びとなりますが、本校十九期生の卒業にあたり、教職員を代表して、保護者の皆様、地域の皆様の本校の教育への御理解、御協力に感謝申し上げます。そして卒業生の皆さんの、健康を祈り、さらなる活躍をお祈り申し上げ、式辞といたします。

令和八年三月七日

東京都立大泉桜高等学校 校長 尾崎 肇